

次代の農業を担う子どもたちが、農産物の流通、販売の現場を体験
北海道・JAふらの生産者の子どもたちが、地元産の野菜を販売
7月30日(火)、コープ南浦和店(さいたま市)にて実施します

コープみらい(本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都)は、JAふらの(名称：ふらの農業協同組合、本店：北海道富良野市)が地元の野菜生産者の子どもたちを対象に実施している農作物販売体験に協力し、7月30日(火)「コープ南浦和店」にて、JAふらの野菜生産者の子どもたち11名が富良野で作られたミニトマトの農産物を販売いたします。

JAふらののは、これからの農業を担う子どもたちに農業への関心を持ってもらうことを目的に、地元で作られた農作物がどのように流通、販売されているかを子どもたちに体験してもらう企画を毎年、JAふらのが主催する「ふら農っ子in東京」ツアー(2泊3日)の中で実施しています。今年は、子どもたちがJAふらの産のミニトマトの対面販売や商品陳列、作業場での袋詰め等を行い、農作物がどのように店頭で売られ、消費者に届いているのかを体験します。



過去の販売体験の様子

【販売体験概要】

実施日時：2019年7月30日(火)14:00頃~15:20頃

※時間は店舗およびツアーバス到着時間によって変更となる場合がございます。

実施店舗：「コープ南浦和店」(埼玉県さいたま市南区根岸2-11-12)

実施内容：JAふらの野菜生産者の子どもたちや富良野市在住の子どもたちによる、富良野産ミニトマトなどの販売・商品陳列などの実習体験

※今回の販売体験は、コープ南浦和店とコープ武蔵浦和店(さいたま市)の2店舗で行っており、合計の参加者は22名です。

【JAふらの概要】

JAふらののは、北海道上川管内の南部に位置する上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村の1市3町1村を区域とする22,100haの農用地に、恵まれた自然環境と土地条件を生かして、玉ねぎ、にんじん、馬鈴しょ、水稻、麦、甜菜、畜産、メロン、スイカ、トマト等多岐にわたる農畜産物を産出する一大食料生産基地です。 ※JAふらののホームページより

ご取材をご希望される方は、下記連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



『SDGs』の目標12
持続可能な生産消費形態を確保する

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に、事業と活動を通して貢献します。 ※詳しくはこちら <https://sustainability.coopdeli.coop/>

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
【理 事 長】新井 ちとせ(あらい ちとせ)
【組 合 員 数】350万人(2019年6月20日現在)

【総 事 業 高】3,909億円(2018年度)
【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
【ホームページ】<https://mirai.coopnet.or.jp/>